

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

全日本アーチェリー連盟競技部より、競技会での対応が示されていますので次のようにお願いします。

1 基本的な考え方

- (1) 参加者（選手・監督・役員等）の健康と安全を最優先に考えて対応する。
- (2) 大会運営に際して守る事項をまとめ、守れない参加者については参加の取り消しがある。
- (3) 選手はシューティングライン上で1 m以上、観客同士は2 m以上の間隔をとる。

2 参加者に守っていただきたい内容

- (1) 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる。
 - ・ 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- (2) マスクを持参する。**（受付時、競技中以外はマスクを着用する）**
- (3) アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 他の参加者、スタッフ等との距離（できるだけ1m以上）を確保する。
- (5) 競技中に大きな声で会話、応援等をしない。
- (6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置、指示に従う。
- (7) 競技終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、**主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。**

3 競技会時の対応

- (1) 本部テントに消毒液を設置するので手指の消毒をする。
- (2) シューティングライン上で1人当たり1 m以上の間隔を確保できるようにする。
- (3) 受付時に**参加者から別紙申告用紙の提出を求める。**
当日本部に用意しますが事前に印刷して持参も可。署名して提出。
- (4) 参加者がマスクを準備していることを確認する。
- (5) 配布物（スコアカード等）はテーブルに並べ、選手に自分で取ってもらう。
- (6) 開会式・閉会式・表彰式では、参加者は距離をとって整列する。
- (7) 競技中
 - ・ 役員、審判は、常時マスクを着用する。
 - ・ 採点中も選手同士が適切な距離を確保するように意識する。
 - ・ 矢取りは交代しながら**自分の矢のみを抜く。**
 - ・ **スコアカードは1人1枚の様式とし、**
バインダーは共有せず、採点相手のものを競技終了まで管理する。
 - ・ 審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて安全な距離を確保する。

選手は受付時にこの確認用紙を提出してください。

(全日本アーチェリー連盟競技部の感染拡大防止ガイドラインより)

この用紙は2週間保管いたします。

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者あるいは所属支部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。

確認事項

- 1 県協会または各支部に登録した年齢、住所、連絡先(電話番号)に変更ありません。
変更がある場合、新たに緊急連絡先を希望する場合に記入する。

変更・緊急連絡先

2 競技会前2週間における以下の事項

- (1) 平熱を超える発熱（おおむね平熱より1度以上高い）はありません。
- (2) せき、のどの痛みなど風邪の症状はありません。
- (3) だるさ（けんたい感）、息苦しさ（呼吸困難）はありません。
- (4) 嗅覚や味覚の異常はありません。
- (5) 体が重く感じる、疲れやすい等はありません。
- (6) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触はありません。
- (7) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方はいません。
- (8) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触はありません。

以上間違いありません。

年 月 日

署名
